

1年人文

グローバルリーダー育成メソッド I in school

講演・ワークショップ「グローバル化と国家と帰属意識」



平成29年2月21日(火)、第1学年人文社会コース対象の授業「21世紀を生きる」(公民科)の中で、大阪大学大学院国際公共政策研究科准教授の中内政貴先生による講演・ワークショップを開きました。

まず、5限目はミニポスターセッションとして、授業内で今まで仕上げてきた各自のグローバルなテーマに関する発表を行い、「難民を受け入れるべき?」「TPPはどうなる?」など様々なテーマがそろいました。中内先生は発表の様子を見て回り、最後に講評をいただきました。どうしたらもっとオーディエンスを引きつける発表になるかアドバイスをくださり、最後に、ただ調べたことを伝えるだけでなく、国内外で色々な経験を積んで、実感のこもったプレゼンにしたいと、お言葉をいただきました。

6・7限目は、中内先生の講演・ワークショップを行いました。この時間はグループに分かれ、生徒同士の話し合いを交えながら進めました。今回は、生徒の関心も高い「難民・移民問題から見るグローバル化」について、続いてトランプ現象や英国のEU離脱を例に「国家への回帰」について、最後に「帰属意識とグローバル人材」についてお話いただきました。グループワークの中で特に盛り上がったのは、「日本が近隣国と次の政策(関税撤廃・天然資源共同管理・統一通貨の導入など)をとるとしたら、受け入れられるか?」というもの。ほとんどのグループが「NO」と答えましたが、EUは連合を組織するにあたり、これらを何十年もかけて調整してきたことを知り、驚きました。それぞれがグローバル化の意味を実感を持って考えることができた1日でした。



いよいよフランス研修がはじまります!



3月18日(土)~30日(木)まで、1・2年生の21名がフランス研修に出発します。

この研修のため、何ヶ月も前からフランス語やフランス文化について勉強してきました。

滞在中は、サン・ジョセフ生の自宅にホームステイをしながら学校に通ったり、ル・アーヴル市庁舎を訪問して取材をしたり、パリではユネスコでのインタビュー活動を予定しています。

研修に参加しない生徒も土産話を楽しみに、ぜひ旅立つ仲間を応援してあげてください。

フランス研修の様子はSGH通信や城東高校HP上で追って報告します◎

ユネスコって何をしているの?

フランス研修でパリのユネスコを訪問すると書きましたが、この「ユネスコ」という言葉は誰も聞いたことはあると思いますが、何をしている組織か知っていますか?

ユネスコの頭文字は”United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization”からできています。英語で見ると何に関する機関なのか分かってきますね。ユネスコは、国連の機関で、教育、科学、文化の協力と交流を通じた、国際平和と人類の福祉の促進を目的とした組織です。例えば、世界寺子屋活動、識字率の向上や世界遺産もユネスコの事業です。ユネスコの本部はパリにありますが、フランス人だけでなく、日本人を含む多くの国籍の人々が一緒に働いています。

※参考:文部科学省HP

新2年生・新3年生の課題研究について

新2年生たちの課題研究のグループ分けが始まりました。

まもなく先輩たち(新3年生)の研究紀要「叡智の扉」も発刊されますので、参考にしなが、来年度先輩達に負けない研究を目指して頑張ってください。

新3年生については、入試の面接で、SGHの取組や課題研究等の実績、海外研修の体験などについて聞かれることもあります。課題研究やSGHの取組を通じて培ったことを進路にも生かせるように、自分の研究を今一度整理し、自分の口で説明できるようにしましょう。



予告

*3/19(日)

SGH 甲子園(日本全国のSGH指定校によるイベント@関西学院大学)

…1年生希望者がディスカッションに参加します。

*4/22(土)~23(日)

国際公共政策コンファレンス(大阪大学法学部の学生が発足させた研究発表会)

…SGH 課題研究発表会で最優秀賞を受賞した

社会5班「日本人は外国人労働者を受け入れるべきか？」が参加します。



SGHの3年目を振り返る

SGHは3年目が終わろうとしており、1年目に1年生だった生徒が今月卒業しました。1つの節目を迎え、今までの取組と成果の一部を簡単に振り返りたいと思います。

●SGHと大学・企業とのつながり

SGHを通じて城東高校と大学・企業との連携は深まっています。

今年度SGHのために協力してくださった
大学関係者の方 企業関係者の方

延べ
138名

延べ
42名

※2年前
と比べて
約2倍

大学・企業と連携した取組が進路決定に影響したという3年生も多くいました。

●SGHと英語力

SGHは英語力を高めることが直接の目的の事業ではありませんが、国際交流等を通じてそれぞれが英語の必要性を実感し、意欲的に学習に取り組んだ成果が出てきています。

英検2級もしくは同等の英語資格を持つ
3年生の割合

約 **36** %

※昨年は約28%

●SGHと課題研究

課題研究は、大学の先生の指導を受け、研究内容が年々充実してきており、調べ物にとどまらない立派な調査研究へと進化しています。

インタビューやアンケートなど独自の調査を研究に盛り込む班の数

約 **29** %

※2年前と比べて約2倍

●SGHとグローバルリーダー

全校生徒のうち、「将来仕事で国際的に活躍したい・またはその必要がある」と考える生徒の割合

約 **72** %

そのうち「SGHによって、この意識が芽生えた」生徒の割合

約 **37** %